

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成26年度)

施設の名称	宮城県クレー射撃場
指定管理者の名称	一般社団法人宮城県猟友会
施設所管部課(室)	環境生活部 自然保護課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	社団法人宮城県猟友会	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	社団法人宮城県猟友会	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	一般社団法人宮城県猟友会	

(注)管理形態欄には, 直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	一般社団法人宮城県猟友会
	所在地	仙台市青葉区堤通雨宮町4-17(宮城県仙台合同庁舎内)
指 定 期 間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日(5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	宮城県クレー射撃場	
所在地	柴田郡村田町大字足立字大平山1番24	
設置年月	平成11年7月	
根拠条例等	クレー射撃場条例	
設置目的	狩猟の適正な実施及び野生鳥獣の保護に関する思想の向上に資するとともにスポーツとしての射撃の普及振興を図るため, クレー射撃場を設置する。	
施設の内容	敷地面積	52, 241. 73㎡
	構造	木造平屋
施設の内容	管理棟 (大研修室, 小研修室, 事務室他)	597㎡
	射撃場	トラップ射撃場 1面 トラップ・スキート併用射撃場 2面 スキート・ラビット併用射撃場 1面 プーラーハウス 4棟 他
開館(所)日	4月1日~11月30日, 3月1日~ 3月31日の期間で ・火曜日(休日を除く)及び休日の翌日(土, 日曜日及び休日を除く)を除く日 12月1日~翌年2月末日の期間で ・月~火曜日(休日を除く)及び休日の翌日(土, 日曜日及び休日を除く)を除く日 ・12月28日~翌年1月3日を除く日	
開館(所)時間	4月1日~11月30日 午前 9時~午後5時 2月1日~ 2月28日 午前10時~午後4時 3月1日~ 3月31日 午前10時~午後5時	
指定管理者が行う業務の範囲	・射撃場の使用の許可に関する業務 ・射撃場の維持管理に関する業務 ・上記業務のほか, 知事が別に定める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	施設利用料金・標的放出機利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成26年度) (A)	前年度 (平成25年度) (B)	評価対象年度 (平成26年度) (C)		
開館(所)日数	297 日	293 日	297 日	100.0%	101.4%
延べ利用者数	4,600 人	4,327 人	4,727 人	102.8%	109.2%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成26年度) (A)	前年度 (平成25年度) (B)	評価対象年度 (平成26年度) (C)		
猟友会	2,800 人	2,638 人	2,970 人	106.1%	112.6%
一般	225 人	225 人	299 人	132.9%	132.9%
県外	900 人	945 人	941 人	104.6%	99.6%
日クレー	475 人	519 人	517 人	108.8%	99.6%
合 計	4,400 人	4,327 人	4,727 人	107.4%	109.2%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成26年度) (A)	前年度 (平成25年度) (B)	評価対象年度 (平成26年度) (C)		
県指定管理料	0	0	0	-	-
利用料金収入	19,070	17,942	19,370	101.6%	108.0%
その他	2,768	5,120	6,188	223.6%	120.9%
収入計 (a)	21,838	23,062	25,558	117.0%	110.8%

(2) 支出

人件費	12,064	12,489	11,896	98.6%	95.3%
施設管理費	3,190	3,131	3,241	101.6%	103.5%
事業運営費	5,647	6,237	6,168	109.2%	98.9%
その他	1,509	1,459	4,249	281.6%	291.2%
支出計 (b)	22,410	23,316	25,554	114.0%	109.6%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-572	-254	4	-0.7%	-1.6%
前期繰越収支差額	-	579	326	-	56.3%
次期繰越収支差額	-	325	330	-	101.5%

自主事業の収支実績(射撃用品等販売, 射撃大会事業, 射撃奨励事業, 教習射撃事業, 技能講習受託) ※ 管理運営収支内数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成26年度) (A)	前年度 (平成25年度) (B)	評価対象年度 (平成26年度) (C)		
(1)収入	2,238	2,281	2,282	102.0%	100.0%
(2)支出	1,509	1,459	1,649	109.3%	113.0%
(3)収支	729	822	633	86.8%	77.0%

6. 評価対象年度(平成26年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	宮城県クレー射撃場管理運営委員会を年3回開催し、収支状況の報告、事業の計画等一般の事項を審議し、適切な管理運営を行なった。 開催日:4月21日,平成27年1月18日,3月13日		職員1名が年度半ばから産休に入ったため、経験のある臨時職員を採用して利用者に適切に対応できるよう配慮した。 また、非常勤職員(プラー)の出勤日数を随時見直し、非常勤職員の経費を削減に努めた。来場者が多い日には、職員二人も交替でプラーをこなした。		A	適正に管理運営がされている。	A
人員体制	正規	2人	非正規	5人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の清掃を常時実施するとともに、合併浄化槽の維持管理,受水槽の維持管理,井戸及びびろ過装置の維持管理,空調設備理等の契約を締結し、清潔を保つようにした。 建物の警備については、夜間及び射撃場休場日の機械警備の契約を締結し、地元警察署,駐在所等の協力を得るとともに、常に巡点検等を行い、万全を期した。 		<ul style="list-style-type: none"> 設備の保守管理を適切に実施するとともに、冬場の雪かきや夏場の草刈りなど場内の環境整備を適時行なう等、射撃場の管理運営を適正に行い、利用者のため快適に利用できるよう努めた。 県からの賃借物件については、常に保守点検に努め、破損紛失等のないよう努めた。 		A	施設の補修,点検が適時に行われている。また、場内の清掃も行き届いており清潔に保たれている。	A
③運營業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性のため次の事業を行った。 装弾の販売(十二村銃砲店に委託) 射撃用品(ベスト,帽子,手袋等)の販売,ジュース等の飲み物の販売(自動販売機設置) 		計画通り実施した。		A	利用者への物品の斡旋等利便性の確保が図られている。	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 射撃大会の実施 8月10日 夏季射撃大会 7月20日 県猟フィールド射撃大会 10月25日 秋季射撃大会 狩猟者等のための講習会の実施 7月31日,8月1日 リーダー研修会 9月19日有害鳥獣捕獲隊員特別研修 射撃教習事業(初心者対象の教習)22名受講 技能講習受託事業(県警からの受託)60名受講(宮城58名,山形2名) 		宮城県猟友会の構成員は毎年減少し、しかも高齢化していることから、射撃大会の参加者の減少が懸念されているが、前年度参加者へのはがき作戦や賞品の工夫によって、前年度を上回る参加者を確保できた。 また、新たに山形県警察本部と契約を結ぶことにより、本射撃場における冬場(山形県の射撃場は閉鎖)の山形県在住者の技能講習が可能となったが、人数が少ないことから、山形県警に周知を依頼している。		A	工夫を凝らして、計画どおり実施している。	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ホール内を禁煙とし、外部に喫煙用の灰皿を設置。 装弾の販売を十二村銃砲店に委託。 射撃大会の採点のコンピュータ集計を実施。 		計画通り実施した。		A	射撃大会の採点のコンピュータ集計を行うなど、利用者の利便性確保が図られている。	A
⑥利用者の苦情,要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> ご意見カード回収箱を設置し利用者の要望の把握に努めた。 回収したカードについて、管理運営委員会で審議し業務に反映することとしているが、回収したカードはなかった。 		利用者の苦情や要望はその都度職員が受け止め対応していることから、カードを記入する人はいない。 猟友会の構成員しか来場しないことから、要望等の把握は出来ているものとする。		A	利用者が要望や意見を直接スタッフに述べやすい雰囲気づくりが図られているものと評価する。	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 建物内外の火災の防止については、消防用設備等保守点検,電気工作物保安等の契約を締結するとともに、防火管理者を定めて消防計画を策定し、所轄消防署の指導を得て、火災予防に万全を期した。 		計画通り実施できた。		A	適切に管理されている。	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 当施設は、狩猟を行う者の射撃訓練研修,及び有害鳥獣捕獲等公益活動の訓練の場とする者,競技射撃を行う者,レジャーとしてクレー射撃を行う者等に広く開放されるものであり、これを同等に受け入れる体制としており、使用拒否の件数はなかった。 また施設は、初級者から上級者まで多様な来場者及び猟友会,クレー射撃協会,銃砲関係者等主催大会が開催されるため、柔軟に対応できるよう日程調整等に十分配慮した。 		県(自然保護課)が企画し実施している「新人ハンター養成講座」の会場として研修室を使用するとともに、射撃場の見学,会員によるイノシシやニホンジカ,キジなどのジビエ料理の提供なども併せて実施した。		A	競技射撃を行う者,レジャーとして射撃を行う者,また、射撃訓練研修の場や見学会を開催するなど広く開放している。	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県猟友会個人情報保護規程により、個人情報の保護に努めた。 個人情報保護規程を職員に周知徹底した。 	計画通り実施した。	A	適正に処理されている。	A
⑩利用実績	入場者数 4,727人 大研修室利用 全日7回, 半日10回 小研修室利用 全日6回, 半日61回 標的放出機使用枚数 T/S 394,914枚, その他1,830枚	前年度と比較すると、「入場者数」は+400人、「研修室利用」は+6回、「クレー枚数」は+30,547枚となった。 これは、前年度まで東日本大震災の影響で落ち込みが続いていたことと、前年度は大雪の影響でクローズした日が多かったことなどによる。 今後とも、集客の努力を続けていく。	A	会員数の減少傾向などを考慮すれば、利用者数等の増は集客努力の成果と思われる。	A
⑪収支実績	当期収入合計 25,558,342円 当期支出合計 25,553,963円 当期収支差額 4,379円 前期繰越収支差額 325,700円 次期繰越収支差額 330,079円	取り崩す基金や積立金もないことから、資金のショートを避けるため、県猟友会から60万円を借り入れており、返済していない。そのため、実質的な収支差額は△595,621円となっている。 経費の節減も限界であり、何らかの抜本的な対応策が必要となっている。	B	さらなる集客対策と自主事業の工夫による収入増及びさらなる経費節減について県とともに検討を進める必要がある。	B
⑫その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> 射撃場内における銃砲等の取扱いについては、銃刀法、指定射撃場の指定に関する総理府令等関係法令を遵守するとともに地元警察署等の指導を受け、事故発生の防止に努めた。 環境配慮の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> 使用済みクレーを回収し、再利用のため販売業者に引き渡した。 空薬莖を分別回収し、廃棄物処理業者に引き渡した。 	計画通り実施した。	A	事故発生の防止に努めている。また、環境に対する配慮がなされている。	A
総合評価		利用者人口の減少や東日本大震災の影響による収入減などがあり、クレー射撃場の収支状況は大変厳しいものがある。 収入増加策や経費削減策も限界であり、抜本的な対応が必要となっている。	B	随所に努力のあとが見られ、評価できるものの、狩猟者人口の減少や猟友会会員の高齢化に伴う利用者数の減等により収入は伸び悩んでおり厳しい運営状況になっていることから、さらなる改善策など、受託・委託両方で抜本的な対策について協議・検討を進めていきたい。	B

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	2020年東京五輪のクレー射撃競技会場地として名乗りを上げ、知事にもご助力いただいたが、実現は難しく、今後は練習会場地としてアピールしていきたい。 建設後の経年変化で、施設の鉄骨部分やテントの金属部分の錆による劣化が急速に進んでおり、早急な対応が必要と考えます。	施設の老朽化や集客につながる施設の改善については、委託・受託両方で協議検討しながら対策に万全を期していきたい。 減少傾向にあった利用者数は、ここ数年回復傾向のあるものの、狩猟者の高齢化に伴う会員数の減少など取り巻く情勢は極めて厳しいものがあることから、新たな集客対策として、自主事業の展開方法の検討など一層の創意工夫が望まれる。